

理事長よりご挨拶

社会の変化と介護保険制度の改正

社会福祉法人 溪仁会
理事長 谷内 好

4年余りのコロナ禍もようやく鎮まってきたかの感がありますが、皆さま方と職員が力を合わせて乗り越えてくることができました。人知の及ばない新興感染症の怖さをあらためて思い知ったと言う辛い日々連続でした。

そうした状況が原因かどうかは分かりませんが、日本の婚姻の数も減り、合わせて生まれて来る赤ちゃんの数も80万人を切ったという報道が続いて、少子化に一層拍車が掛かっています。

今の日本は、まさに多死・超高齢超少子化社会です。

来年団塊ジュニア世代が高齢者となる2025年問題を前に、この4月介護保険制度が変わりました。医療保険制度と障害福祉サービスとの同時改定で、上記した社会の状況を色濃く反映したものです。

とりわけこの度のコロナ禍の経験からも、感染予防や介護と医療の強い連携強化が一番に目がつくところですし、健康寿命の延伸やQOLの維持向上という点からはリハビリや栄養マネジメントなどに力点が置かれていることが分かります。

また介護現場でのICT化や見守りセンサーなどの導入も進展してきました。ご利用者の皆さまの尊厳を守り、自立をご支援するという介護保険制度の主旨に沿ったプログラムや機器類の普及をさらに期待しているところです。

溪仁会の各施設での外国人職員も増え、日本語も上達してきました。とても大切な職員の方々です。物理的環境が進化し、また障がいをもった職員をふくめ多様な職員が協働する今の介護現場ですが、「介護を通して人間的に成長していくことを学ぶ」を合言葉として日々の介護サービスに努めてまいります。

変わらぬご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

※QOL=Quality of life (クオリティ オブ ライフ) は「生活の質」「生命の質」などと訳され、身体的な苦痛の軽減、精神的、社会的活動を含めた総合的な活力、生きがい、満足度という意味が含まれます。

※ICT (情報通信技術) とは、「ネットワークを活用して情報を共有すること」「今まで紙で管理していた情報をデジタル化することにより、業務負担を軽減すること」を目的として取り入れられております。



コミュニティだより

介護老人保健施設

コミュニティホーム八雲

発行日 令和6年4月1日

4月号



3月お誕生者のお祝い



3月13日(水)、3月生まれのご利用者のお祝いを行いました。入所9名、通所6名、計15名のご利用者が誕生日を迎えられました。おめでとうございます。

今回は、カラオケサークル 燦々会様に余興を披露していただきました。『ソーラン節』や、『津軽平野』等の曲を披露していただき、最後は『北海盆唄』を踊りました。

ご利用者は笑顔で、楽しい時間を過ごされていました。



通所
男祭りポスター



通所 男性職員による「男祭り」開催!

3月27日(水)、通所にて男性職員による初めての企画、「男祭り」を開催しました。
 男性職員3名による「コーラ1.5ℓ一気飲み」や「懸垂」「ストッキング被りゲーム」「叩いて被ってじゃんけんぽん」等の種目で競いました。
 男性職員がみせる普段見ることができない真剣でおかしな表情に、皆さん爆笑の渦でした。



通所 外食レク



通所リハビリでは、3月26日(火)に「金太郎」さんへ外食に出掛けました。今回も事前に好きなメニューを選び予約をして訪問。お店のプロの味に皆さん大満足。お腹も心も満たされた一日となりました。



常勤医師変更のお知らせ



この度、施設長、俣野 順医師が3月31日付で退任し、4月1日より石川幸辰医師が常勤医師として着任し、ご利用者の診療にあたりますので、よろしくお願いいたします。



リングプル回収のお知らせ

日頃からリングプルの回収にご協力いただきありがとうございます。4月1日現在で164.2kgのリングプルが集まりました。1ヶ月で約1.0kgの収集となりました。



今後ともご協力をお願いします。

4月の行事予定

4月 18日(木)誕生会

4月下旬~5月上旬 花見ドライブ
(入所)



※新型コロナウイルスの感染状況により、開催の延期や中止をすることがあります。

【行事の風景やご案内等は当施設のホームページにも掲載しておりますので是非ともご覧下さい。】

コミュニティホーム八雲

<http://www.keijinkai.com/c-yakumo/>

作成担当者 支援相談課 Y. A